

4 . 人との関わりに関する現状と課題



人と河川との関係が希薄になったものの、古くから地域に密着した信仰やまつりなどは、今なお、継続されています。



麻機遊水地・吉田川などの水辺は、自然再生の取り組みや、環境教育などに利用されるなど、川と人との新たな関係も構築されつつあります。

河川環境調査



吉田川での河川環境学習の様子



麻機遊水地の環境教育の様子



地域のみなさんによる河川愛護活動が行われ、地域の人々から愛される川づくりが実践されています。



各地で河川との関わりが継続、復活してるものの、河川と流域住民との関わりがまだまだ希薄であるため、流域一環の積極的な取り組みが必要である。

課題を解決するためのキーワード

県関係部局、静岡市との連携

市民、団体、企業、行政などとの**連携、協働の推進**

川の**魅力再発見、歴史や文化の伝承、環境教育**

河川に関わる様々な**情報の収集・提供**

次世代に引き継ぐべき景観（能島橋）



乗船体験学習



流域と河川の課題の取りまとめ（求められる事項）

治水 流域内で発生する浸水被害の軽減のため、浸水原因など実態を考慮した治水安全度向上策（ハード面、ソフト面）の実施。

（ 今後の検討事項
浸水原因と解決策、施設整備の内容、費用対効果（B/C）、
流出抑制の方策など ）

利用 親水空間としての河川の利活用のさらなる推進、施設整備の目的にあった利活用の実態を適切に把握し対処すること。

環境 残された貴重な自然環境を保全し、守り伝えることが求められているため、護岸整備などにより、低下した河川の魅力を取り戻すこと。

関わり 各地で河川との関わりが継続、復活してるものの、河川と流域住民との関わりがまだまだ希薄であるため、流域一環で積極的に取組むこと。